

令和4年度奈良市特定給食施設等研修会報告書

1. 研修会の開催概要

日 時	令和4年7月6日(水)13:30~16:30 録画配信：令和4年7月7日(木)~7月28日(木)
場 所	Zoomによるオンライン研修及び一部現地参加（はぐくみセンター）
事業名	令和4年度奈良市特定給食施設等研修会
主 催	奈良市健康医療部保健所保健衛生課
目 的	近年様々な災害等が発生しており、地震など大規模な災害発生時であっても施設は外部からの支援を待つことなく利用者への食提供の継続が求められる。市の防災対策や地域の施設の現状を知り、平時からの備えや災害時の必要な対応につなげる。
対 象	特定給食施設（病院、高齢者施設、障害者支援施設、児童福祉施設、事業所その他の施設）の管理者、栄養管理担当者および調理従事者等 地域活動栄養士・管理栄養士
参加者	139施設 104名 ※併任の方がいるため施設数と人数が異なる 参加率：67%（詳細は参加施設内訳参照）
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所長挨拶 ・講義「市の防災対策及び災害への対応と備え」（奈良市危機管理監危機管理課） ・報告 給食施設の現状（奈良市健康医療部保健所保健衛生課） ・講義「給食施設の役割と災害時対応～奈良県栄養士会の活動をふまえて～」 講師：公益社団法人奈良県栄養士会理事、JDA-DAT リーダー/奈良県代表 介護老人保健施設 大和田の里 主任管理栄養士 木島 隆栄 氏 サンプル展示：公益財団法人奈良県栄養士会賛助会員 株式会社クリニコ、株式会社明治 ・質疑応答・意見交換 ・栄養ワンダー2022 説明、食と環境に関するアンケート結果紹介
評価方法	I. 対象とする施設全体の参加率（目標：6割以上） II. 事後アンケート

参加施設内訳

施設種	対象施設数	参加施設数	参加率 (%)
病院・診療所	26	19	73
介護医療院	1	1	100
介護老人保健施設	11	10	61
老人福祉施設	48	39	81
障害者支援施設	23	17	74
私立保育園・こども園	42	30	71
有料老人ホーム	29	12	41
その他の施設	25	11	44
合計	205	139	67

公立保育園・こども園・公立学校は、別途所管課の参加あり。

2. 研修結果・評価・考察

事前アンケート結果	<p>実施日：5月20日（金）～6月22日（水） 方法：出欠票兼アンケート用紙による受付 115名 以下事前アンケート結果から抜粋</p>
	<p>Q1. 大規模災害等発生時の特定給食施設の役割、平時からの備えや災害時の対応を理解していますか。</p>
	<p>はい 81% (93件) いいえ 19% (22件)</p>
	<p>Q2. 大規模災害等発生時の特定給食施設の役割、平時からの備えや災害時の対応を職員全員が理解するために周知していますか。</p>
	<p>はい 42% (48件) いいえ 26% (30件) わからない 32% (37件)</p>
	<p>Q3. 市の防災の取組や災害への対応・備えの基本事項をご存知ですか。</p>
	<p>はい 33% (38件) いいえ 67% (77件)</p>
	<p>Q4. 災害時の栄養・食支援に関する奈良県栄養士会の取組をご存知ですか。</p>
	<p>はい 31% (34件) いいえ 69% (77件)</p>
	<p>Q5. 災害時の対応について課題がありますか。</p>
	<p>はい 44% (50件) いいえ 10% (12件) わからない 46% (53件)</p>
	<p>Q6. 質問項目5で「はい」の方は具体的にご記入ください。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄の適切な量がわからない、確保できていない、保管場所がない。 ・ペースト食、アレルギー食、経管栄養食、乳児食などに対応できていない。 ・夜間の人員確保、管理栄養士が不在時の対応、施設が機能しない場合の対応が難しい。(BCP検討中の施設も) ・訓練できていない、火災訓練のみで他の訓練がない。 ・災害時における公私のあり方がわからない。 など
<p>Q7. 災害時の栄養・食支援に関してご質問がありましたらご記入ください。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・実践的な取組、他施設の対応などについて知りたい。 ・常食以外の刻み食、ペースト食、アレルギー食などへの対応についてアドバイスが欲しい。 ・アルファ米で備蓄する場合の消費方法について知りたい。 ・期限がきた防災倉庫の食品をどのように消費しているのか知りたい。 ・防災訓練で防災食を食べることができるよう、行政予算で対応すべきではないか。 など 	

	<p>まとめと考察</p> <p>アンケート結果から、市や奈良県栄養士会の取組について、約7割が知らないということが分かった。平時からの備えの中では、備蓄の量、食事形態、保管場所など、特に備蓄に関する課題や質問が多かった。また災害時の対応に関しても、夜間、管理栄養士不在時などの特別な状況下での対応に関する課題や質問が多かった。このような結果から、平時からの備えや災害時の対応について基本的な部分は理解できている一方で、具体的な状況を想定できていない施設が多いのではないかと考えられる。</p>										
事後アンケート結果	<p>実施日：7月6日（水）～7月28日（木）</p> <p>方法：会場及びインターネット回答</p> <p>回収率：57%(59名)</p> <p>以下参加者アンケート結果から抜粋</p>										
	Q1. 所属										
	<table> <tr><td>高齢者施設</td><td>21人</td></tr> <tr><td>児童福祉施設</td><td>16人</td></tr> <tr><td>病院</td><td>10人</td></tr> <tr><td>障害者施設</td><td>5人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>7人</td></tr> </table>	高齢者施設	21人	児童福祉施設	16人	病院	10人	障害者施設	5人	その他	7人
	高齢者施設	21人									
	児童福祉施設	16人									
	病院	10人									
	障害者施設	5人									
	その他	7人									
	Q2. 職種										
	<table> <tr><td>管理栄養士・栄養士</td><td>46人</td></tr> <tr><td>管理者・事務</td><td>6人</td></tr> <tr><td>調理師・調理員</td><td>6人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>1人</td></tr> </table>	管理栄養士・栄養士	46人	管理者・事務	6人	調理師・調理員	6人	その他	1人		
	管理栄養士・栄養士	46人									
	管理者・事務	6人									
調理師・調理員	6人										
その他	1人										
Q3. 研修は、災害時の対応に役立つ内容でしたか。											
<table> <tr><td>とてもそう思う</td><td>26%(15件)</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>71%(42件)</td></tr> <tr><td>あまり思わない</td><td>3%(2件)</td></tr> </table>	とてもそう思う	26%(15件)	そう思う	71%(42件)	あまり思わない	3%(2件)					
とてもそう思う	26%(15件)										
そう思う	71%(42件)										
あまり思わない	3%(2件)										
Q4. 上記回答について、特に参考になった内容があればお答えください。											
<table> <tr><td>給食施設の役割と災害時対応奈良県栄養士会の活動をふまえて</td><td>60%(33件)</td></tr> <tr><td>市の防災対策の取組及び災害への対応と備え</td><td>36%(20件)</td></tr> <tr><td>栄養管理報告書からみた奈良市特定給食施設の現状</td><td>4%(2件)</td></tr> </table>	給食施設の役割と災害時対応奈良県栄養士会の活動をふまえて	60%(33件)	市の防災対策の取組及び災害への対応と備え	36%(20件)	栄養管理報告書からみた奈良市特定給食施設の現状	4%(2件)					
給食施設の役割と災害時対応奈良県栄養士会の活動をふまえて	60%(33件)										
市の防災対策の取組及び災害への対応と備え	36%(20件)										
栄養管理報告書からみた奈良市特定給食施設の現状	4%(2件)										
Q5. 研修は平時からの備えに役立つ内容でしたか。											
<table> <tr><td>とてもそう思う</td><td>22%(13件)</td></tr> <tr><td>そう思う</td><td>76%(45件)</td></tr> <tr><td>あまり思わない</td><td>2%(1件)</td></tr> </table>	とてもそう思う	22%(13件)	そう思う	76%(45件)	あまり思わない	2%(1件)					
とてもそう思う	22%(13件)										
そう思う	76%(45件)										
あまり思わない	2%(1件)										
Q6. 上記回答について、特に参考になった内容があれば一つ選んでください。											
<table> <tr><td>給食施設の役割と災害時対応</td><td>58%(31件)</td></tr> <tr><td>市の防災対策の取組及び災害への対応と備え</td><td>36%(19件)</td></tr> <tr><td>栄養管理報告書からみた奈良市特定給食施設の現状</td><td>6%(3件)</td></tr> </table>	給食施設の役割と災害時対応	58%(31件)	市の防災対策の取組及び災害への対応と備え	36%(19件)	栄養管理報告書からみた奈良市特定給食施設の現状	6%(3件)					
給食施設の役割と災害時対応	58%(31件)										
市の防災対策の取組及び災害への対応と備え	36%(19件)										
栄養管理報告書からみた奈良市特定給食施設の現状	6%(3件)										

Q7. 講義のなかで、災害時の対応と平時の備えのどちらにより興味をもちましたか。
災害時の対応 50%(29 件) 平時の備え 50%(29 件)
Q8. 市が行っている防災の取組や災害時対応・備えについて情報を得たり確認したりする機会になりましたか。
とてもそう思う 17%(10 件) そう思う 81%(48 件) あまり思わない 2%(1 件)
Q9. 災害時の奈良県栄養士会の取組に関する情報を得ることができましたか。
とてもそう思う 24%(14 件) そう思う 71%(42 件) あまり思わない 3%(2 件) わからない 2%(1 件)
Q10. 災害時を想定して、特に心配していることがあればご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 備蓄している食料が不足しないか。 ・ 福祉避難所で備蓄が入所者の分しかない場合、地域住民が避難してきたときに対応できるか。 ・ 普通食のみの備蓄で、刻み食、ミキサー食、アレルギー食、離乳食など個別に対応できるか。適温で提供できるか。 ・ 非常食をストックする場所の確保、ローリングでの消費など適切に管理することができるか。 ・ 職員が職場に来ることができるか把握できないこと。職員がすぐに職場に来ることができない場合、災害発生時にいる職員で食事が提供できるかどうか。指揮系統や現場スタッフの役割分担や具体的な作業工程が確立されていないと。 ・ パニック状態にならず、作成したマニュアルに沿って計画通りに、うまく対応できるか。 ・ 食事を外部に委託している場合、災害の種類によって対応が異なること。委託先の工場の対応が曖昧であること。 ・ 奈良市、奈良市保健所、多職種などと連携をとることができるか。 ・ 施設が山間部にある場合、孤立状態になる可能性があること。 ・ 生理用品の備蓄や、トイレなど衛生面での認識を共有できるか。 など
Q11. 今後取組もうと思われることがあればご記入ください。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の対応マニュアルの充実に取り組みたいです。それに対して、質疑応答で具体的なアドバイスを頂いたので今後の参考にしたいと思います。 ・ 炊き出し訓練の実施に向けて、マニュアル等の作成を進めたい。 ・ 備蓄の量や一覧表の見やすさの見直しをする(委託業者も含め) ・ 非常食を常備しているが、実際に災害が起きた場合パニックにならないよう頭でシミュレーションをし、冷静に判断出来るように日頃から取り組むようにしていきたいです。 ・ マニュアルの内容をより多くの方に把握していただく場を設け、管理栄養士不在の場合でも備蓄食品の準備等に手間取らないような体制を作っておく。 ・ 市の災害対策やハザードマップなどについて、日頃から理解を深めておこうと思いました。 ・ 非常食を備蓄しているが十分とはいえないので、引き続きローリングストックできる内容で改善していきたい。

に対する回答が二極化したことから、平時・災害時ともに参加者の興味を引くような、有意義な内容であったと考えられる。

目標の達成については、事後アンケートの選択式回答のまとめより、市の防災対策や地域の施設の現状を認知してもらうことに本研修会が寄与したと評価できる。また、事後アンケートの今後の取り組みに関する回答から、本研修会を経て、各施設が平時や災害時の必要な対応を理解し、その実現に向けた施設ごとの今後の対応策がより具体的になったと評価できる。

また、本研修会はオンライン形式と対面形式を併せて行った。オンライン開催が効率的である一方で、映像・音声トラブルが生じたため、今後改善していく。

4. 今後について

- ・講師に対する個別相談がある場合は保健衛生課で聞き取り対応する。
- ・研修に参加されなかった施設やフォローが必要な施設は個別対応する。

報告書作成協力：奈良女子大学生生活環境学部 公衆栄養学臨地実習生